



2025 年 10 月 27 日

各 位

会社名	東 ソ ー 株 式 会 社
代表者名	代表取締役社長 栗田 守
(コード番号	4042 東証プライム)
問合せ先責任者	執行役員 経営管理室長 坂田 昌繁
(TEL	03-6636-3713)

**減損損失(連結)・関係会社株式評価損(個別)の計上および
第2四半期(中間期)業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2026 年3月期第2四半期連結会計期間(2025 年7月1日～2025 年9月 30 日)において、下記のとおり、連結決算において減損損失を、個別決算においては関係会社株式評価損を、それぞれ計上する見込みとなりました。あわせて、2025 年5月 13 日に公表した 2026 年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 減損損失(連結)・関係会社株式評価損(個別)の計上について

米国でスパッタリングターゲットの製造・販売を行っているトーソー・SMD, Inc. (以下、TSMD)の固定資産に係る減損損失を計上し、個別決算において関係会社株式評価損を特別損失として計上する見込みとなりました。

(1) TSMD の固定資産に係る減損損失(連結)の計上

当社の連結子会社である TSMD は、米国半導体市場の回復の遅れによる出荷の減少を受けて営業損失を計上しており、直近では、米国半導体市場の先行きが一層不透明となり、需要回復の時期が見通せない状況が続いております。そのため、販売が計画を下回る状況が継続しており、これらの要因から減損の兆候が認められたため、回収可能性のテストを実施しました。その結果、TSMD の固定資産について 191 億円(注)の減損損失を特別損失として計上する見込みとなりました。

(注)為替レート 148.40 円/USD にて金額を算定しております。

(2) 関係会社株式評価損(個別)の計上

TSMD の業績悪化および減損損失計上等に伴い、当社が保有する同社の持株会社であるトーソー・アメリカ, Inc. の株式の実質価値が著しく低下するため、2026 年3月期第2四半期において、関係会社株式評価損 96 億円を特別損失に計上する見込みとなりました。なお、当該関係会社評価損は、連結決算上は相殺されるため、連結損益には影響ありません。

2. 連結業績予想の修正

(1) 2026 年3月期 第2 四半期(中間期)連結業績予想の修正(2025 年4月1日～2025 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 510,000	百万円 42,000	百万円 39,000	百万円 22,000	円 銭 69.07
今回修正予想(B)	499,000	44,000	45,000	7,000	22.02
増減額(B-A)	△11,000	2,000	6,000	△15,000	
増減率(%)	△2.2	4.8	15.4	△68.2	
(ご参考) 前年同期実績 (2025 年3月期第2四半期)	527,623	47,387	45,106	24,941	78.32

(2) 修正の理由

円安進行、ナフサ価格上昇やエンジニアリング事業の売上拡大が増収要因となるものの、需要低迷などにより主として塩ビ製品ほかクロル・アルカリ製品の販売数量と海外市況が想定を下回ったことにより、売上高は前回予想を下回る見込みです。営業利益については、売上高の減少とナフサ等原料価格の上昇によりクロル・アルカリ製品や石油化学製品での悪化はあるものの、エンジニアリング事業の売上拡大や円安進行による機能商品の取引条件の改善などにより、前回予想を上回る見込みです。また、円安進行に伴う為替差損益の改善により営業外損益が改善することから、経常利益は前回予想を上回る見込みです。親会社株主に帰属する中間純利益は、前述の減損損失計上に伴い前回予想を下回る見込みです。

通期の業績予想につきましては、現在精査中のため、11 月4日に予定しております第2四半期決算の開示にあわせてお知らせいたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。従いまして、予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と異なる可能性があります。

以上